

県民要望に応える提案 6月県議会開会にあたって

日本共産党長野県議団長 石坂 千穂

6月議会開会日の提案説明で、田中知事は、厳しい財政状況のもとで、県財政健全化への努力と県民要望実現の決意がのべられ、全体としては歓迎できるものです。

特に乳幼児医療費の窓口無料化の具体化を約束しました

提案された約6億円の補正予算案は、かねてから日本共産党県議団が要望してきた児童相談所への教員配置の実現、ケーブルテレビの整備、木造住宅の耐震性評価のための「壁試験機」の導入のほか、2月県会で減額削除された県産間伐材を活用した「信州型木製ガードレール」整備事業、「スキー王国NAGANO構築事業」、「コモンズ支援車」の配置の提案です。議会の一部に「いったん議会が否決したものを再提案するのは議会軽視だ」という声がありますが、県民ニーズにかなうものであれば、議会のメンツにこだわるべきではありません。

「信州型木製ガードレール」は、景観への配慮と言う点での軽井沢・上高地へのモデル的な設置で、新たに国土交通省の補助対象にもなったものです。「スキー王国NAGANO構築事業」は2月議会以後、改めて関係者の要望に沿うものとして調整の努力が図られ、事業内容が変更されています。

「コモンズ支援車」は宝くじ助成金の活用で災害時の情報収集をはじめ、県民のよりきめ細かい相談ごとなどに応えていこうとするものです。

利権県政復活の政争の舞台にしてはならない

知事後援会の幹部である下水道業者の働きかけに関する文書が情報公開されずに破棄されたこと、県の人事作業が行われたホテル代金や職員の飲食代が知事の後援会から支出されたことなどの問題で「百条委員会」を設置しようとする動きがあります。

しかし、ホテル代や職員の飲食代はすでに知事後援会に返還されており二月県議会における日本共産党議員の指摘にたいして田中知事は「(働きかけ文書が)不存在というのは適切な決定とはいえなかった。情報公開制度を改善し、県政の透明化に努めていきたい」と答え、後援会幹部の問題は「癒着が疑われることのないように襟を正したい」と答えています。

いま県民の要望が山積しているとき、多くの県民は県議会が利権県政復活のための政争の舞台になるようなことを望んでいません。

ご要望をお寄せください

連絡先：日本共産党長野県議団 長野市南長野幅下692-2
TEL 026-237-6266 FAX 026-237-6322

ホームページ <http://www.avis.ne.jp/~up/> E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp